



川俣小学校「学校だより」

輝くひとみ

令和3年2月19日(金) 第43号

教育目標 ☆すすんで学ぶ子ども
☆思いやりのある子ども
☆ねばり強い子ども
☆たくましい子ども
発行者 校長 本名 武



好きこそものの上手なれ



「好きこそものの上手なれ」の諺のように、好きなことには、誰に言われずとも長い時間、熱心に取り組んだり楽しみながら工夫したりして、その上達も早いものです。まして子どものそのスピードは大人の何倍もあるように思います。スキーを小学生に教えたとき、自分が何シーズンもかかった技術を数日で会得する子どもの姿を目の当たりにし衝撃を受けたものでした。



「好きこそ」の「やる気・意欲」が学業や運動面等に大きく作用しますが、このように、それをするのと自体に楽しみや喜びを感じるという理由で動機づけられ取り組むものを「内発的動機づけ」と言います。これに対して、これをする褒めがもらえる、やらないと叱られる・罰があるという他律的な理由のものを「外発的動機づけ」と言います。また、褒めはなくても、これをする他から良く思われるから、やらないと恥ずかしいからという理由のものを「取り入的動機づけ」、さらに、「夢は薬剤師なので、苦手だけど理数系を頑張る」など、そうすることが自分の将来のためになるから行う理由のものを「同一化的動機づけ」と言います。



願わくば、内発的動機づけによって自律的に伸びていってほしいところですが、人間ですので、好き・嫌い、向き・不向きなどがあります。それぞれの成長の段階や場面で適切な動機づけとなるよう考えていくことも大事に思います。令和初のノーベル賞受賞者となったリチウムイオン電池開発の吉野彰氏の「小学校4年生の時の担任から勧められた本『ロウソクの科学』に影響されて科学に興味をもった。」という話は有名ですが、運命を変えるとまではいかななくても、人との出会いやあこがれ、もの・こととの出会いなどの環境もやる気スイッチと関係がありそうです。それは、そこに自由に弾けるピアノが置いてあったから・・・、偶然に見つけた昆虫との出会いだった・・・小学校時代にいろいろなことに興味や関心がもてるよう、また、様々な体験ができるよう、そして、子どもが好きなことを一つでも多く見つけ、「好きこそものの上手なれ」となるよう、さらに、そのことが次の学年・学校にもつながるようしてまいりたいと思います。



PTA理事会・学校評議員会

2月15日にPTA理事会と学校評議員会が行われました。大地震後の中にもかかわらず、本年度の事業についての反省・まとめと次年度に向けての計画・確認等を行っていただきました。ご多用の中、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。